

【海外拠点】山口銀行釜山支店、山口銀行青島支店、山口銀行大連支店、山口銀行香港駐在員事務所
【現地駐在】TTB銀行(タイ・バンコク)、日本政策金融公庫バンコク駐在員事務所(タイ・バンコク)
HD銀行(ベトナム・ホーチミン)、明倫国際法律事務所ホーチミンオフィス(ベトナム・ホーチミン)



【香港駐在員事務所】

香港向け農林水産物・食品輸出について

1. はじめに

最近、香港では日本人にとって馴染みの深い「卵かけご飯」や「納豆ご飯」が人気で、百貨店・スーパーの食品売り場は鶏卵や納豆の品揃えが充実しています。香港在住の日本人だけでなく、香港人も購入し、家庭で食べているようです。私の知人で15年以上香港に住んでいる日本人の方が、「これまでは食あたりが心配で生卵を食べなかったが、最近になって初めて日本の卵を買って、卵かけご飯にして食べました。香港で卵かけご飯が食べられるとは思ってもみませんでした。」と感慨深げに話されていました。

香港は高温多湿な気候で食中毒のリスクが高く、生＝危険と考えられていました。日本の食品は衛生・品質管理が徹底されており、また、ロジスティクスの発展で温度管理された状態での輸送が可能になったことから、卵の例のように、今後更に日本の食文化・食習慣が香港で広がっていく可能性があります。

2. 香港向け輸出品目

2020年の日本の農林水産物・食品輸出額は9,223億円となり、そのうち香港向けが2,061億円、輸出額全体の22.3%を占めました。輸出先では、1位香港、2位中華人民共和国、3位アメリカ合衆国、4位台湾、5位ベトナムの順で、香港は2005年から16年連続1位となりました。香港向け輸出額は前年比1.2%増加しましたが、新型コロナウイルスの影響もあり輸出品目に変化が見られましたので、特に変動の大きかった3品目を取り上げます。

①真珠

2019年 285億円→2020年 46億円（前年比▲239億円）

アジアにおける真珠ビジネスのハブとして、日本の農林水産物・食品輸出額において永らく1位を誇ってきた真珠ですが、ジュエリーショー等の各種宝飾イベント中止の影響もあり、大きく減少しました。

②日本酒

2019年 39億円→2020年 62億円（前年比+23億円）

日本料理店等の飲食店向けの他、外出自粛による家飲み需要の増加で小売店、ECサイトでの販売が伸び、大きく増加しました。

③鶏卵

2019年 22億円→2020年 45億円（前年比+23億円）

新型コロナウイルスの影響で一時中国本土から鶏卵が入らなくなり、その間に日本からの輸入が増えたこと、日本の鶏卵は生で食べても安心・安全であるという生食に適した品質の高さが評価されたこと、また、巣ごもり需要も追い風となり、前年比約2倍に増加しました。なお、現状輸出できる国・地域が、香港、シンガポール、台湾等に限定されているため、香港向け輸出額が全体の約97%を占めています。

その他輸出品目では、牛肉 54億円（前年比+3億円）、牛乳・乳製品 41億円（同+5億円）、ぶどう 21億円（同+4億円）、いちご 20億円（同+5億円）、米・パックご飯・米粉および米粉製品 18億円（同+3億円）、ソース混合調味料 35億円（同+7億円）等の香港向け輸出額が増加しました。

【2020年の農林水産物・食品輸出額（国・地域別）】

順位	輸出先	輸出額（億円）	金額構成比（%）
1	香港	2,061	22.3
2	中華人民共和国	1,639	17.8
3	アメリカ合衆国	1,188	12.9
4	台湾	976	10.6
5	ベトナム	537	5.8
6	大韓民国	411	4.5
7	タイ	401	4.3
8	シンガポール	295	3.2
9	オーストラリア	164	1.8
10	フィリピン	151	1.6
—	EU	488	5.3

出典：農林水産省「2020年の農林水産物・食品の輸出実績の概要」



香港 SOGO 日本酒売り場【筆者撮影】



香港 SOGO 鶏卵売り場【筆者撮影】

3. 今後の農林水産物・食品の輸出拡大に向けて

日本政府は、2025年までに2兆円、2030年までに5兆円という農林水産物・食品輸出額の目標を設定し、この目標を実現するために、2020年11月30日、「農林水産物・食品の輸出拡大実行戦略」を策定しました。日本が強みを有する27品目を輸出の「重点品目」に選定し、重点品目毎にターゲット国・地域の特定や具体的な輸出目標・手段を明確化することで、官民一体となり海外での販売力強化に取り組むことになっています。

重点品目のうち、香港向け輸出額の大きい品目は下表の通りです。各品目ともかなり高い目標設定になっていますので、これまで輸出実績のない地域で生産された農林水産物・食品についても、今後、輸出に繋がる可能性があります。

【主な香港向け重点品目別輸出額】

単位：億円

品目	2019年実績	2020年実績	2025年目標
牛肉	51	54	330
豚肉	12	13	21
鶏肉	14	15	24
鶏卵	22	45	55
牛乳・乳製品	36	41	50
りんご	37	29	45
ぶどう	17	21	74
もも	14	14	44
かんきつ	3	3	16
いちご	15	20	61
米・パックご飯・米粉および米粉製品	15	18	36
ぶり	11	12	40
菓子	59	50	117
清涼飲料水	56	51	131
日本酒	39	62	110

出典：農林水産省「農林水産物・食品の輸出拡大実行戦略 品目別輸出目標」

農林水産省「2020年農林水産物・食品の輸出実績（品目別）」

4. おわりに

2019年の訪日香港人数は229万人と過去最高を更新しました。香港の人口が約750万人ですので、単純計算で約3人に1人が日本を訪れたこととなります。

しかしながら、その後の新型コロナウイルスの発生により日本を訪れることができない状況が続いています。日本の食品の輸入バイヤーの方にお聞きしたところ、「現在は日本に行きたくても行けないので、今まで以上に香港で日本の食品を購入したいというニーズが高まっている。これまで香港に進出したことのない食品メーカー等にもチャンスがある。」

と話されていました。

山口フィナンシャルグループでは、香港をはじめ海外向けに販路開拓を検討されているお客様のサポートを行っています。海外渡航が制限される中、お客様に代わり、現地の市場調査、販売先の発掘、オンライン商談のセッティング等々さまざまな海外展開ニーズに対応していますので、お気軽にお取引店、または、山口フィナンシャルグループ海外戦略部までお問い合わせください。

(山口銀行香港駐在員事務所 山根 元博)

【参考文献】

農林水産省

- ・ 2020 年の農林水産物・食品の輸出実績の概要
<https://www.maff.go.jp/j/press/shokusan/service/attach/pdf/210205-1.pdf>
- ・ 2020 年農林水産物・食品の輸出実績（国・地域別）
https://www.maff.go.jp/j/shokusan/export/e_info/attach/pdf/zisseki-283.pdf
- ・ 2020 年農林水産物・食品の輸出実績（品目別）
https://www.maff.go.jp/j/shokusan/export/e_info/attach/pdf/zisseki-277.pdf
- ・ 農林水産物・食品の輸出拡大実行戦略
https://www.maff.go.jp/j/shokusan/export/e_action/attach/pdf/index-5.pdf

JNTO（日本政府観光局）

- ・ JNTO 訪日旅行データハンドブック 2020
https://www.jnto.go.jp/jpn/statistics/jnto_databook_2020.pdf